

92 ADAM: An Extension of Situation Semantics for Practical Use

C. Numaoka (慶応義塾大学, 日本)

発表要旨

本稿はADAM(Actual Discourse Assistant Model)と呼ばれる、実践的なsituation semanticの拡張である、discourse理解のモデルについて説明する。ADAMはobject orientationの概念を使うことによって、situation semanticよりもdiscourseを理解するためのもっと直感的なframeworkを与えてくれる。ADAMにおいては、objectが情報の運搬処置とみなされている。情報がobjectそのものとobject間の関係から抽出される。更に、知識システムの行動が情報に依存している。ADAMは以下のような要素を持っている。

- ・ ADAMの中の世界はsituation objectの集合によって作られる。このsituation objectには、temporal location, spatial location, とindividualの基本的なobjectがある。
- ・ discourse situation objectは可能世界である。anaphoric参照とフォーカスがdiscourse situationで解釈される。

以上のような要素によって、ADAMはdiscourse理解の困難な部分を処理するための実際のframeworkを与えてくれる。さらに、ADAMのframeworkには、知識システムのための自然言語インターフェースも用意されている。

質疑応答

質問：assumptive situationについてですが、質問が埋め込まれているモデルにこれを使っていますが、あなたが説明した例よりもっと複雑な文、例えば” John wonders whether Mary is going to travel for the States.”とか” Mary wonders which Japanese book John has read.”のような文でも扱えるのですか。

回答：はい、できます。この図では、上半分はgraphical世界で、下半分はKnowledge object世界です。我々のモデルは、この両方ともobjectです。どんな複雑な文でもこのモデルの中で処理されます。

質問：私が問題と思っているのは、先言いました例のような文を扱うためには、assumptive situationは不確定性を持つ要素の概念のようなものが必要になるということなのですが、あなたのモデルにはそのようなものがありません。” John wonders which book Mary has read.”と言う時に、” book”に当たる要素は何らかの不確定性がありますね。どんな本の事を話しているのかわからないからです。あなたのモデルにはそのようなものがないようです。

回答：ここでは、お答えできませんが、後で説明しますけれども、よろしいでしょうか。

質問：はい。